

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新型コロナウイルスの感染対策により、外出の希望があっても、思うようにお出かけすることができず、一人ひとりの希望に沿った外出や買い物ができなかった。 今後も当面の間は感染対策による行動制限は予測されるものの、そういった中でも一人ひとりの生活をより豊かにするために、できることを増やしていくようにしていく必要がある。	新型コロナウイルス感染対策をしながらも、日々の中で楽しみを見つけられるよう定期的に外出する機会を設ける。	①散歩を希望されているご入居者には、気分転換・下肢筋力低下予防のため、パート職員が出勤の日には毎日散歩に出かける。(天候が良い日のみ) ※散歩は同じご入居者ばかりにならないよう、希望者が平等に出かけられるよう配慮をする。 ②買い物を希望されているご入居者には、買い物代行と毎週木曜日14時からの生協の訪問販売を活用する。 ③ドライブなど人との接触が少なく、新型コロナウイルス感染のリスクが低い外出行事を可能な範囲で企画し実行する。(不定期) ④オンライン面会や短時間で面会していただく機会を設け、ご家族との繋がりを感じてもらう。 ⑤事業所内で行える行事も可能な限り企画し実行する。(不定期)	12ヶ月
2	36	「丁寧な対応と丁寧な言葉遣い」を運営方針として定め、年度当初他事あるごとに職員に意識するように投げかけているが、その「できている」と感じる度合いは一人ひとりの感覚に差があるため、通年で働きかけ、施設としての基準を浸透させる必要がある。	ご入居者と職員の関係が馴れ合いにならないように、より丁寧な対応と丁寧な言葉づかいを大切にすること。	① 3か月に一度ケアチェック表を用いて職員が普段の対応、言葉づかいを振り返り、見直す。丁寧な対応、言葉づかいが出来ていない場面で職員同士が注意し合う。	12ヶ月
3	20	外部機関や地域交流が寸断された状態で、事業所のことを知っていただく機会がほとんどなくなった。 今まで、母体施設の広報誌のページに掲載してもらっていた情報を事業所独自で作成し、地域に配布することで、地域とのつながりを継続し、事業所の理解をしていただくように働きかける必要がある。	コロナ禍でも地域との交流が途切れないよう、事業所の様子を外部へ発信する。	① 広報担当を決め、3~4か月に一度の頻度で広報誌を作成し配布する。 ②自治会に相談し、回覧板や掲示板への掲載ができないか検討していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。